



あつまれ! 飯倉っこ!

令和7年度
港区立飯倉保育園
(3583)1786

6月下旬、幼児の子ども達と保育士向けに、『ころといのちのお話』講師の原田紗妃先生から、誕生学講義を受けました。乳児期でのスキンシップ、幼児期でのプライベートゾーンに焦点を当て、その後講義での学びを保育士が保育でどのように活かしているか、ご紹介します。

〈スキンシップについて〉

子どもとのスキンシップは、**愛着や自己肯定感・自尊心**を育みます。特に愛着関係は乳児期にとってとても大切です。スキンシップを図ることで大人への安心感に繋がり、保育園で安心できる大人を少しずつ広げていくことができます。そのためにも、子どもとの**触れ合い**を楽しむことが重要です。

【園で取り組んでいるスキンシップ】

☆ ふれあい遊び

例 わらべうたや童謡(一本橋こちょこちょ、うちのうらの、など)、ベビーマッサージ
→ふれあいを通して“**楽しい**”という気持ちを共有しています。

☆ 抱っこをして優しく語り掛ける

→0歳児だけに関わらず、乳児期の抱っこでの関わりは、「暖かくて、心地よく安心できる存在だ」という大人への信頼感に繋がります。

☆ 絵本の読み聞かせ

→内容に合わせて言葉と行動をリンクさせることによって、愛情や安心感を身体で実感できます。

〈幼児に向けてのお話〉

3歳 チクチク・フワフワタッチについて

4歳 プライベートゾーンについて

5歳 就学を見据えた体の大切さについて

年齢ごとに相応しい内容のお話を聞きましたが、どの年齢でも『**プライベートゾーン**』の大切さについてお話をされていました。

【プライベートゾーンを守る上で保育士が保育で活かしていること】

☆ 自分の体、友達の体は大切であることを伝える

☆ 裸になる時間を減らす

例:着替えをする際に洋服を全部脱がずに上を脱いだら上を着る、下を脱いだら下を着る など

☆ 『**見ない、見せない**』、『**触らない、触らせない**』

☆ 自分から「**やめて**」と言っていいことを繰り返し伝えている

プールや湯水遊びを多く行った夏の期間では、特にプライベートゾーンを守ることへの意識を持てるよう子ども達に日々声をかけていました。また、子どもだけでなく、大人も含めた全員がプライベートゾーンをきちんと守られているのかを考え、意識して関わっています。今後も子どもが保育士に対して安全・安心と思える関係性の中で一緒にプライベートゾーンについて考えていけるようにしていきます。